

夏の経済教室 令和7年8月20日(水)

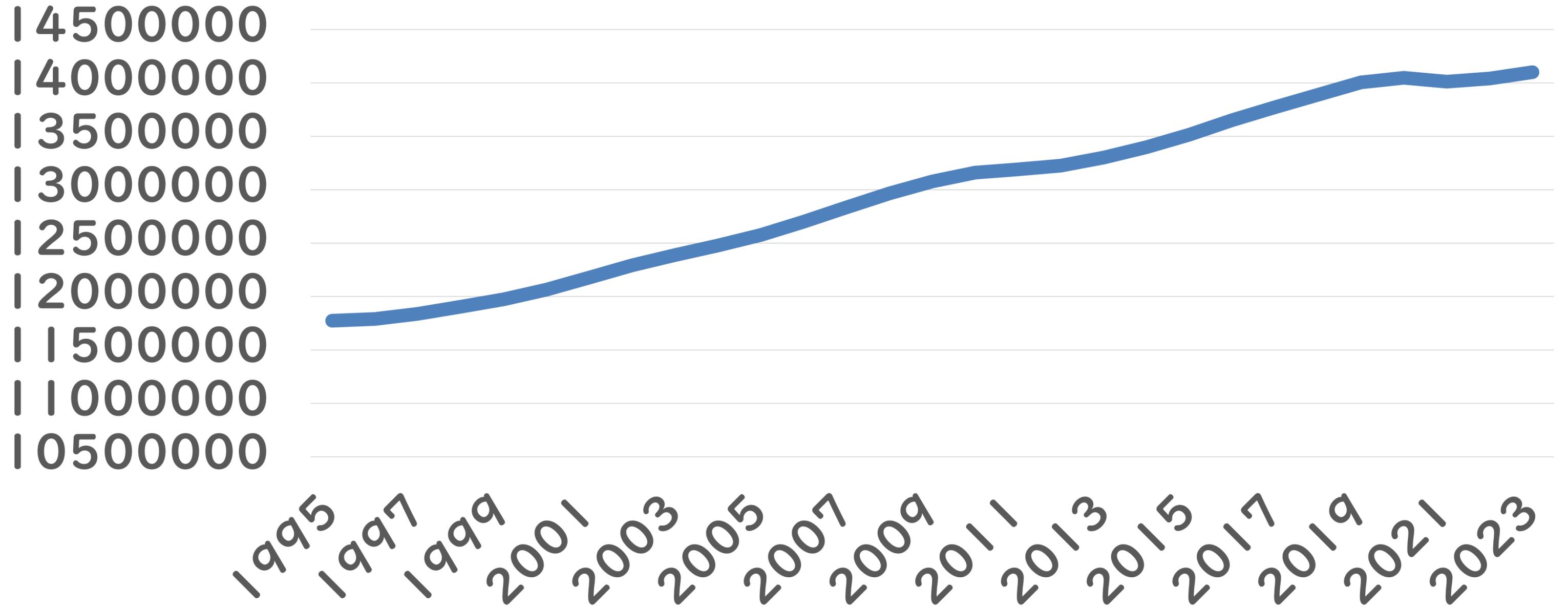
関東地方と地域の在り方を通じた VUCA時代の経済の教え方

八王子市立第二中学校 主任教諭

松平裕介

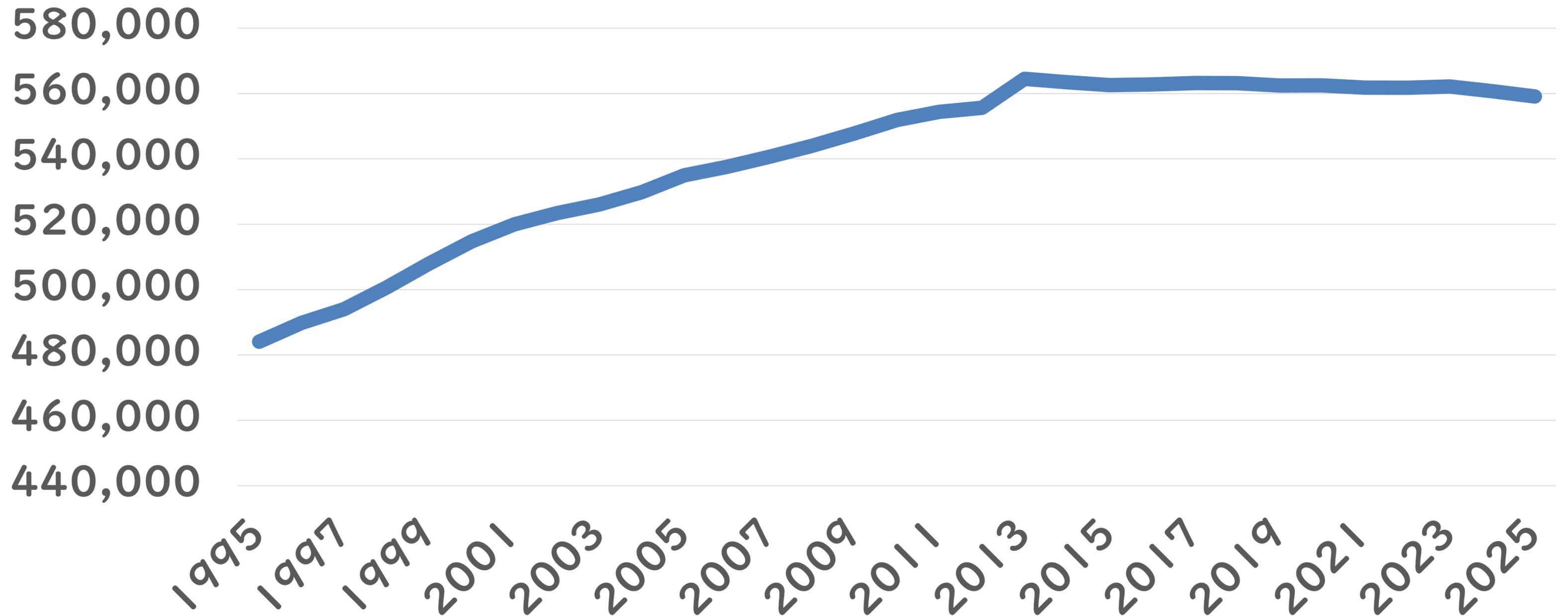
東京都の人口

東京都の統計HPより作成



八王子市の人口

八王子市HPより作成



地方創生、問われる実効性 一極集中止まらず、論戦低調—参院選公約「深掘り・日本の課題」【25参院選】

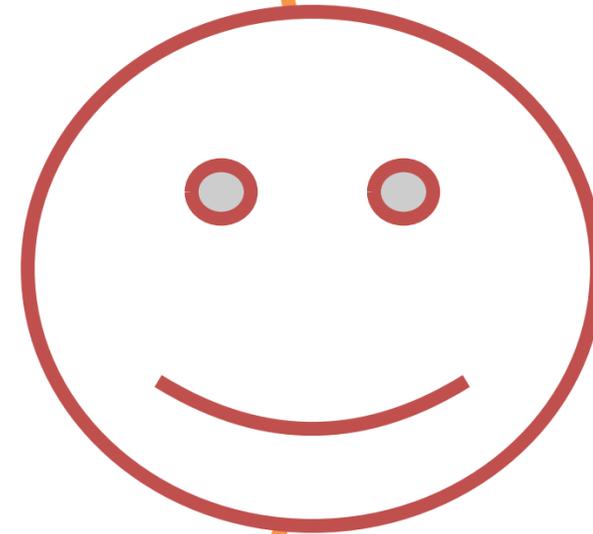
時事通信 内政部 2025年07月12日08時12分配信

政府が地方創生の取り組みを本格化させてから10年が経過したが、地方の人口減少は加速し、東京一極集中に歯止めはかかっていない。参院選で各党の論戦も深まったとは言い難く、担い手不足が深刻化する地方の将来にどう対応するか、施策の実効性が問われている。

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2025071100612&g=pol>

関東地方

八王子市



主権者として
どんな地域に
していきたい
かの構想

地理的な見方・考え方
+
経済の視点

VUCA時代だから、

「主権者」として課題に向き合い、持続可能な社会を形成していくために、課題解決に向けて行動することができ
る生徒を育てたい。

そのために、地理の授業では、これらを考えさせたい。

過去・現在の状況の把握



「ありうる未来」の予測



「ありたい未来」(デザイン思考)

山本隆太「システム思考からデザイン思考, 解決志向型学習へ」(地理教育システムアプローチ研究会編著『社会問題の解決を目指す地理教育～システム思考からさらにその先へ～』(学文社、2025年))を参考

東京一極集中による集積の利益と不利益

- 人々や企業が集積・密集することの利益が大きくなれば、人々や企業を農村から都市へ、小都市から大都市へ移動させることになり、その結果日本で最も高密で規模の大きな集積である東京とその周辺に集中させ、人口も企業も疎である農村部を衰退させることになる。
- 一方で、地価や賃金の上昇、混雑、公害などの環境汚染の集積の不利益が起こってくる。

水野真彦「企業はなぜ東京に集中するのか：経済地理学の視点から」
『日本労働研究雑誌』62巻5号、2020年5月

【事例】

日本の諸地域 関東地方

～人口や都市・村落を中核とした考察の仕方～

全7時間

単元の目標

- 関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、様々な資料から読み取り、まとめるとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解する。
- 関東地方の人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生じる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
- 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色やそこで見られる課題について、主体的に粘り強く追究しようとする。

時数	学習課題
第1時	関東地方の自然環境を知り、単元を貫く学習課題を決めよう。
第2時	関東地方に人口が集中してきた理由を考えよう。
第3時	人口が集中することによって、どんな問題が生じてきたのだろうか？
第4・5時	関東地方の産業は、人口集中とどのように関わり変化してきたのだろうか？
第6時	東京一極集中をどのように考えればよいのだろうか？
第7時	関東地方の学習を振り返り、「よりよい関東地方の姿」を考察しよう。

単元を貫く学習課題

- 1組 なぜ、関東地方は面積が小さいのに人口が多く、発展したのか？
- 2組 なぜ、関東地方は人口が集中し、さかえたのか？

第6時でまとめた「東京一極集中」の良さや課題についての例

・農業が盛んになる

良さ	課題	どちらともいえない
<ul style="list-style-type: none">・商品が多く生産できて人口が多いのでよく売れる・仕事が多くもののやりとりが増えている・交通網の発達で行き来がしやすい・働き手が増える・多くの人材、情報が集まる	<ul style="list-style-type: none">・過密状態になり、渋滞やゴミの問題・政府の対応が人口増加に追いついていないこと・人口の増加により住宅不足が起きている・仕事が増えているからこそいらなくなる仕事も増えている	<ul style="list-style-type: none">・交通網の発達は輸送などには便利だが、渋滞や人の行き来が増えるため現状は変わらない

※「お金」の視点、東京に住む「誘因」(インセンティブ)の視点などを参考に見よう。

自分の考え

- ・人口の増加が止まらなく、過密になっているので政府は対応の仕方を変えた方がよい
- ・情報や新しいものは増えていて良いが、それに伴い人も入ってくるのであまりよくないと考える

班員の考え

- ・働き手が増え、商業が盛んになるがゴミや人口問題もあり良くない
- ・人が集まりすぎると生活がしにくくなり、良さが課題で潰れてしまっている。

「東京一極集中」の課題を、自分たちの生活の視点から、多面的・多角的に考え、意見を構築することができた。

○「東京一極集中」について、最終的な自分の意見をまとめよう。

- ・完全に良いとも悪いとも言えず、情報や人材が集まったり、働き手が増え、商業、農業が盛んになることは良いことだが、それに伴い人口の増加が止まらず、過密状態になり、渋滞、ゴミ問題、住宅不足、通勤ラッシュなど多くの課題も見つかっている。
- ・市街地外からすると逆にとても良くて、作ったものを東京などの大都市に売ることによって多く売れ、利益が得られて良い。
- ・結局は改善しないと東京は大変なことになると思います。

経済的な視点を取り入れることで、大都市と周辺部との空間的相互依存作用の視点を捉えることができた。

このままではよくないと思います。なぜなら、まとめると人口増加にはたくさん
さんの問題があり対策をとってもうまくいっていないという現状があるから
です。また、人口増加と産業の発達には深い関係があり、人口増加により
消費活動が盛んになり産業が発達し、産業が発達することにより働き手、
客、情報が必要となるため人口が増加するという終わりのない問題になる
と思うからです。このままいくと、他地域が衰えるなどのデメリットが増えて
いくと思うので、空き地を住宅にする、電車に乗る時間をずらす、環境に配
慮し、買い物をする、他地域をアピールするなど様々な対策をとることで
「よりよい関東地方の姿」に近づいていくのではないかと思います。

経済的な視点を提示したことで、人々の生活のメリット・デメリットの考察がしや
すくなくなったのではないか。「ありうる未来」(予測)、「ありたい未来」(デザイン
思考)を「よりよい関東地方」の視点から考察することができたのではないか。

【評価】

○知識・技能

・関東地方に人口が増加する理由について、誤りがなく記述されている。

○思考・判断・表現

・関東地方に人口が増加する理由を、多面的・多角的に考察し、表現することができている。

○主体的に学習に取り組む態度

・よりよい社会の実現を視野に、学習上の課題を主体的に解決し、「よりよい関東地方の姿」を表現することができている。

【事例】

地域の在り方

全4時間

単元の目標

- 八王子市の地域の実態や課題解決のための取組を理解するとともに、地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解することができる。
- 八王子市の抱える課題について、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題とその解決策について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
- 八王子市の課題について、よりよい社会の実現を視野に主体的に解決しようとするすることができる。

「持続可能なよりよい八王子」を作るためには？

～地域の在り方を構想しよう～

①八王子の課題を見つけ、課題の要因となるものや課題による影響を図にまとめよう。

②課題を解決するための策を具体的に立ててみよう！

6人班で自由に課題を立てて考察して、八王子の「地域の在り方」を考えさせる。

1～3時間目 調査

- *「ジオグラフ」(帝国書院)を活用し、八王子市内の差異を見るように指導した。
- *教員で作成した枠にあてはめて、「課題とその原因」、「課題による影響」、「解決策」を作成するように指導した。

4時間目 発表と振り返り

学習の最後のまとめとして、八王子市の地域の在り方について、あなたの考えをまとめよう。

*八王子市の特色や課題についてわかったことや気付いたこと

*課題を解決し、よりよい地域のために、どのような解決策が考えられるか？

*よりよい地域の在り方について、自分自身にできることはどんなことか？ などを書こう。

八王子は人口減少と少子高齢化が進んでいて、それによって消費が減少し、地方経済が衰退していつてしまうから、解決策として、都市部から若者が移住してきてくれるように支援制度を作る。住みやすい町にしていくことが大切だと思った。僕はスーパーで八王子産の野菜などを買い、地産地消をすることで一人ひとりが地域に貢献できると思った。また、消費が増えるとゴミも増えると思うから、環境に優しい物を使って包装したり、包装の少ない商品を買うことが大切だと思った。

「経済的な視点」で、「地域の問題」を「自分の問題」として考えることができるきっかけとすることができた。

【成果と課題】

- ・「経済」の視点を取り入れて考えさせることで、社会問題を、自分にも関係あることとして考えるきっかけができた。
- ・関東地方と八王子市のスケールの違いを授業者も生徒も捉えることが難しかった。
- ・日本の諸地域のまとめとして「他地域との結び付き」から他の地方との関連を見出す必要があった。
- ・オーソドックスな実践ではあったが、経済の視点を地理的分野の学習に入れることができた。

<関東土地方に人口が集中する理由>

- ・世界との繋がりがあがる
- ・政治の中心
- ・情報が集まる
- ・交通が発達している
- ・産業が発達している
- ・大企業の本社などがある
- ・教育機関が集中している

<人口集中による問題>

- ・交通渋滞
- ・ゴミの増加
- ・住宅の不足
- ・ヒートアイランド現象

<問題に対しての対策>

- ・時差通勤の推奨
- ・圏央道などの環状道路の整備
- ・ニュータウンの建設

<ニュータウンの問題>

- ・居住者の高齢化や少子化
- ・建物の老朽化

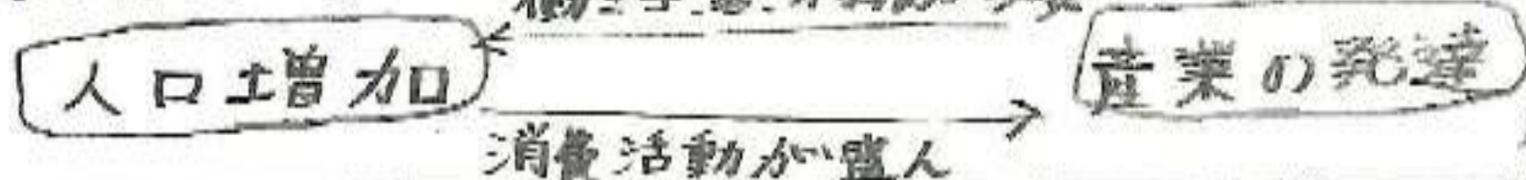
<良さ>

- ・産業の発達
- ・働き手、客の増加

<理由>

- ・東京や横浜など大消費地があるから
 - ・働き手や客、情報が集まるから
- 人口増加により

<まとめると...>



デメリットが
多く
うまくいって
いない
(うまく対策できて
いない)

人口増加と
産業の発達には
深い関係があり
理由に大きく関わっ
ている

人口集中について、多様な視点からまとめ、その関連性について考察することができた。

メンバー

追究したい課題

八王子の産業と経済について

課題
消費が減少している

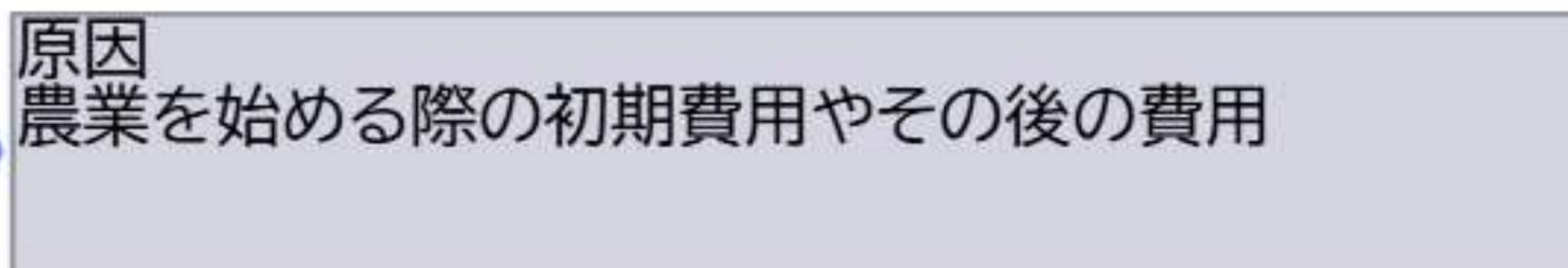
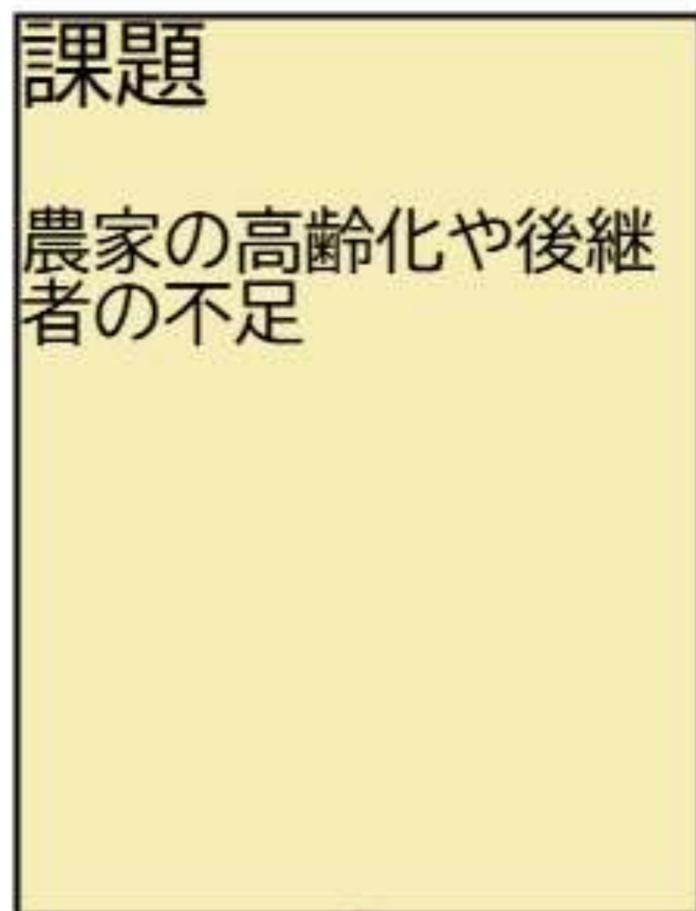
原因
物価の上昇

原因
少子高齢化による人口減少

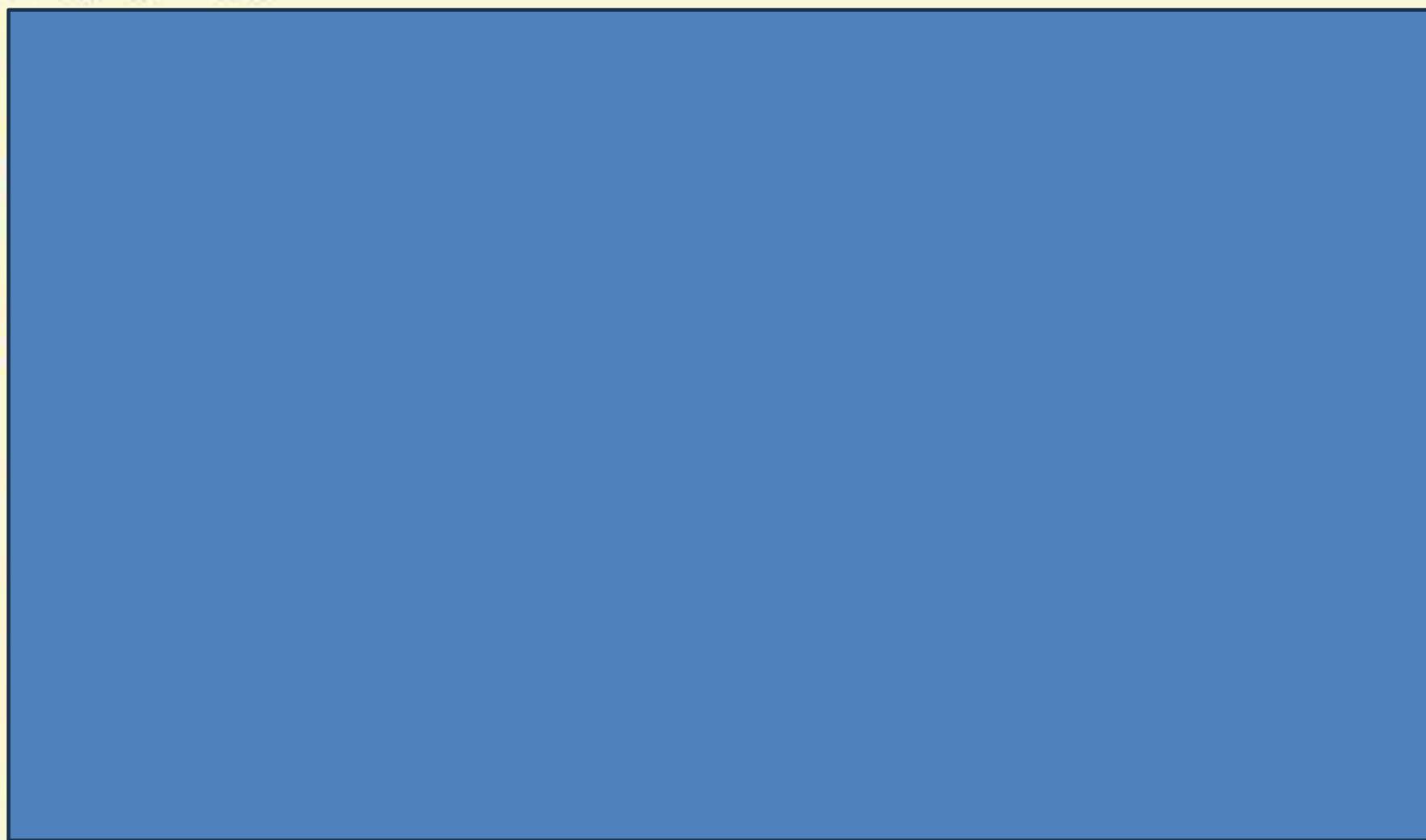
原因



課題による影響
地域経済の衰退



・居住地とモノが売れたこととの関係
人口が多いところほど小売業の販売額が多くなっている。
八王子駅の近くは多く、山の近くは人口も小売業の販売額も
少なくなっている



・人を呼び込む駅周辺のにぎわい
駅に近い地域は飲食・宿泊業従事者の数が多い。駅周辺は人が多く集まるところだからだと思った



解決策(他の地域の事例でも可)

- ・食品ロスを減らす
- ・環境に配慮した商品を選ぶ
- ・農家を始めるときに支援する制度を作る
- ・費用の負担をする
- ・企業の誘致や人材育成
- ・インターネットを活用して人材募集をする
- ・大学や企業と連携し、若者の就労促進を図る

調べた資料名

わがまち八王子
八王子市の公式サイト

感想

どのような課題があるのかがわかった。
産業の衰退には人口の減少が大きく関係しているんだと分かった。

経済を考えることを通じて、関東地方で学習した人口の視点と産業との関連性を考えることができた。